

平成 29 年度

(平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月)

# 環境活動レポート

平成 29 年 12 月 20 日 作成

山崎機工株式会社

# 目 次

## 項 目

---

目次	.....	2
1.会社・事業の概要	.....	3~4
2.環境基本方針	.....	5
3.エコアクション 21 実施体制	.....	6
4.環境保全活動の実践	.....	7
① 環境への負荷低減目標と実績	.....	7~12
エネルギー投入量、二酸化炭素排出量に関する項目		
総廃棄物排出量の削減		
総排水量の削減		
② 営業拠点別主要指標		12
③ 環境保全活動の経過推移（全社過去5年のグラフ化）		13
5.環境への負荷低減のための具体的取組と評価		
・次年度の取組内容	.....	14
6.緊急事態への準備、及び対応	.....	15
7.環境関連法規への違反・訴訟等の有無	.....	15
8.代表者による全体評価と見直しの結果	.....	16

# 1. 会社・事業の概要

- 事業所名 山崎機工株式会社  
代表取締役社長 山崎 均
- 本社所在地 富山県富山市針原中町 503 番地
- 関連事業所 入善営業所 富山県下新川郡入善町道古 59  
高岡営業所 富山県高岡市宝来町 824  
金沢営業所 石川県白山市小上町 112
- 対象範囲 全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする
- 創業・設立 昭和 23 年 11 月 創業 / 昭和 34 年 12 月 設立
- 資本金 45,000 千円
- 決算期 9 月
- 事業内容 無人化・省力化システムをはじめとする産業機械・工作機械  
及び周辺機器類・その他物流システム用品の総合商社

## ■事業所規模

項目		H25年9月期	H26年9月期	H27年9月期	H28年9月期	H29年9月期
売上高 (百万円)	本社	1,769	2,436	2,607	2,827	2,595
	入善	540	527	542	733	648
	高岡	407	511	622	711	665
	金沢	233	339	400	306	410
従業員 (人)	本社	29	30	31	31	30
	入善	6	6	6	7	7
	高岡	6	6	6	6	6
	金沢	5	5	5	6	5
床面積 (㎡)	本社	1,998	1,988	1,998	1998	1,998
	入善	364	364	364	364	364
	高岡	168	168	168	168	168
	金沢	161	161	161	161	161

■環境保全関係の最高責任者・環境管理責任者・推進委員及び連絡先

最高責任者	山 崎 均	代表取締役社長
環境管理責任者兼総務課推進委員長	蜷 川 士 郎	総務課課長
業務課推進委員長	大 西 清 一	業務課課長
営業部推進委員長	板 木 平 雄 二	本社営業部部長
営業部推進副委員長	奥 井 裕 二	本社営業部マネージャー
営業部推進委員長	西 野 均	入善営業所所長
営業部推進委員長	湊 裕 也	高岡営業所所長
営業部推進委員長	赤 井 義 紀	金沢営業所所長

TEL 076-451-8001 FAX 076-451-8855

E-mail : [soumu@yamazaki-kiko.com](mailto:soumu@yamazaki-kiko.com)

URL <http://www.yamazaki-kiko.com>

## 2. 環 境 基 本 方 針

### 〔環境理念〕

山崎機工株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。

### 〔環境方針〕

1. 企業活動が環境に与える影響を的確に捉え、可能な範囲で環境目的・目標を定めて、環境保全活動の質の継続的な向上を図る。
2. 環境関連の法律、規制などを遵守し、さらに社内ルールを定めて一層の環境保全に取り組む。
3. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物、排水量の削減に企業活動の全ての領域で取り組む。
4. オゾン層破壊物質、地球温暖化物質、有害物質等の環境に負荷を与える物質を含有する製品・部品については、可能な限り代替商品の採用・販売等により削減し、グリーン購入を積極的に行う。
5. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努める。
6. 環境に関する社会活動により、地域社会に貢献する。
7. 環境教育や社内広報活動等を実施し、従業員の環境基本方針の理解と、環境に関する意識向上を図る。
8. 環境管理の実施状況については環境活動レポートを作成し公開する。

平成 20 年 6 月 28 日 作成

平成 20 年 12 月 17 日 改訂

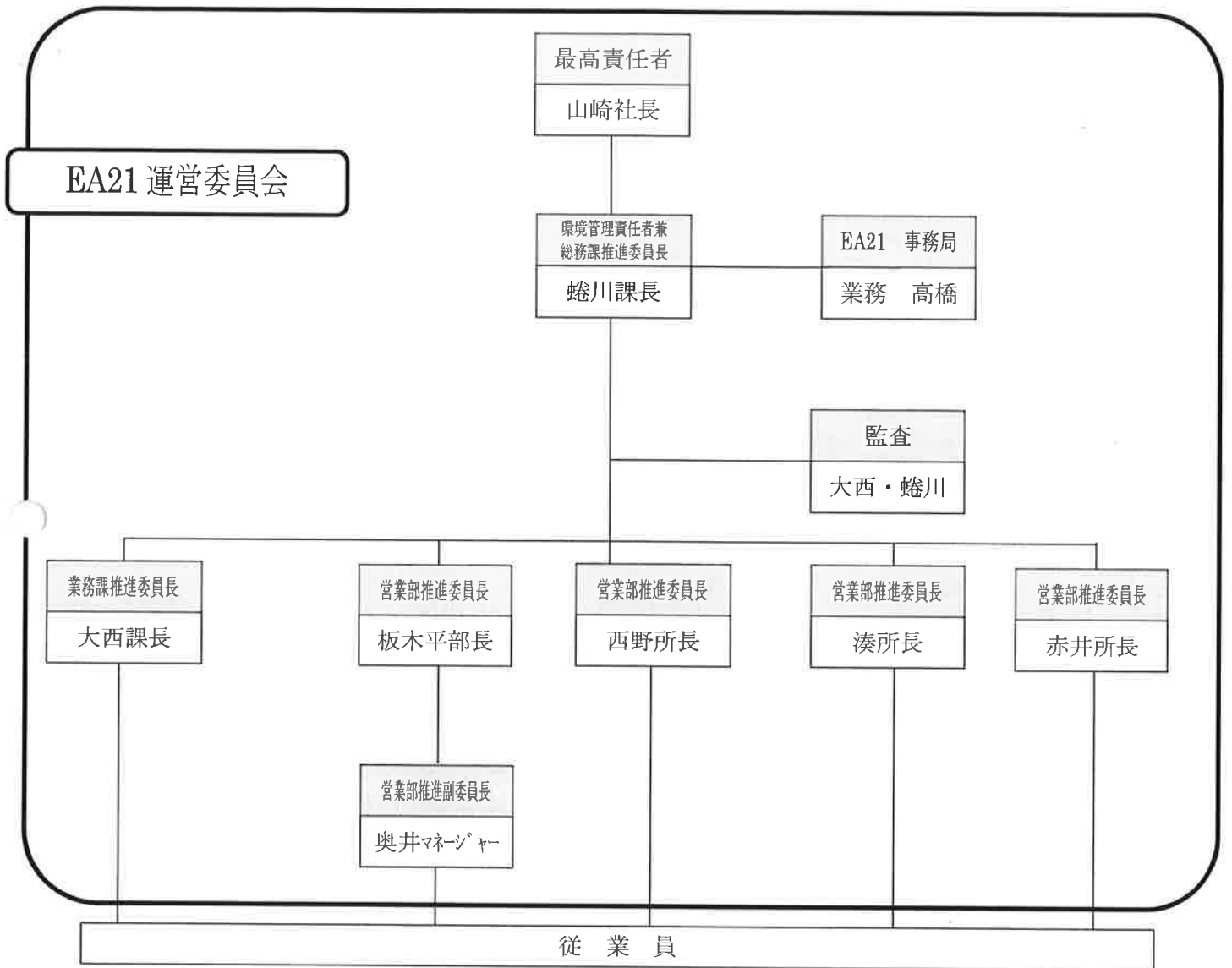
平成 22 年 2 月 12 日 改訂

平成 23 年 5 月 31 日 改訂

山崎機工株式会社

代表取締役社長 山崎 均

### 3. エコアクション21 実施体制



最高責任者

環境マネジメントを行っていく上で、全体的な取組状況について把握・評価し、必要な指示をする。

環境管理責任者

エコアクション21の計画や目標を構築・運用し取り組み状況を最高責任者に報告する。環境活動レポートを取りまとめる。

推進委員長

環境管理責任者をサポートし、各部署において環境活動計画を実行する。

推進副委員長

推進委員長をサポートし、各推進担当者への指示、アドバイスをを行う。

従業員

推進副委員長及び運営委員責任者より指示・アドバイスを受け、各項目毎の環境活動計画を推進実行する。

※EA21 運営委員会は状況を見ながら都度召集する。個別推進項目には、担当者以外に運営委員のスタッフが必ず責任者として入るものとする。

## 4. 環境保全活動の実践

### ①環境への負荷低減目標と実績

当期は平成27年9月期の実績数値を基準年としました。

当期間中の購入電力排出係数については、平成27年北陸電力株式会社実排出係数 0.627kg-CO<sub>2</sub>/kwh)を適用し、目標達成の判定基準は下記表によるところとしました。

尚、化学物質等の使用はありません。

目標達成の判定基準	◎	達成率 120%以上
	○	達成率 100~120%未満
	△	達成率 80~100%未満
	×	達成率 80%未満

### エネルギー投入量、二酸化炭素排出量に関する項目

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9期 実績	H29.9期 目標 (基準年比削減率)	H29.9期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定	中期目標 (基準年比削減率)		
						H30.9	H31.9	H32.9
電気 使用量	本社	34,856kwh	34,380kwh (△1.4%)	33,354kwh (△4.3%)	○ 103.0%	34,300kwh (△1.6%)	34,000kwh (△2.5%)	34,000kwh (△2.5%)
	入善	6,706kwh	6,600kwh (△1.6%)	6,142kwh (△8.4%)	○ 106.9%	6,300kwh (△6.1%)	6,200kwh (△7.5%)	6,100kwh (△9.0%)
	高岡	6,244kwh	6,240kwh (△0.1%)	5,962kwh (△4.5%)	○ 104.5%	6,200kwh (△0.7%)	6,150kwh (△1.5%)	6,100kwh (△2.3%)
	金沢	2,516kwh	2,570kwh (+2.1%)	2,780kwh (+10.5%)	△ 91.8%	2,670kwh (+6.1%)	2,650kwh (+5.3%)	2,630kwh (+4.5%)
	全社	50,322kwh	49,790kwh (△1.1%)	48,238kwh (△4.1%)	○ 103.1%	49,470kwh (△1.7%)	49,000kwh (△2.6%)	48,830kwh (△3.0%)
灯油 使用量	本社	1,692ℓ	1,580ℓ (△6.6%)	1,583ℓ (△6.4%)	△ 99.8%	1,575ℓ (△6.9%)	1,570ℓ (△7.2%)	1,565ℓ (△7.5%)
	入善	818ℓ	800ℓ (△2.2%)	818ℓ (±0%)	△ 97.8%	800ℓ (△2.2%)	800ℓ (△2.2%)	800ℓ (△2.2%)
	高岡	590ℓ	580ℓ (△1.7%)	580ℓ (△1.7%)	○ 100.0%	575ℓ (△2.5%)	570ℓ (△3.4%)	570ℓ (△3.4%)
	金沢	520ℓ	510ℓ (△1.9%)	510ℓ (△1.9%)	○ 100.0%	505ℓ (△2.9%)	500ℓ (△3.8%)	500ℓ (△3.8%)
	全社	3,620ℓ	3,470ℓ (△4.1%)	3,491ℓ (△3.6%)	△ 99.4%	3,455ℓ (△4.6%)	3,440ℓ (△5.0%)	3,435ℓ (△5.1%)

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9 期 実績	H29.9 期 目標 (基準年比削減率)	H29.9 期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定	中期目標 (基準年比削減率)		
						H30.9	H31.9	H32.9
LPG 使用量	本社	45.1kg	41.4kg (△8.2%)	40.6kg (△10.0%)	○ 101.9%	39.3kg (△12.9%)	39.0kg (△13.5%)	38.5kg (△14.6%)
	入善	9.7kg	9.5kg (△2.1%)	7.8kg (△19.6%)	○ 117.9%	9.3kg (△4.1%)	9.0kg (△7.2%)	8.5kg (△12.4%)
	高岡	2.6kg	2.6kg (±0%)	2.9kg (+11.5%)	△ 88.5%	2.6kg (±0%)	2.5kg (△3.8%)	2.5kg (△3.8%)
	金沢	3.0kg	2.9kg (△3.3%)	2.4kg (△20.0%)	○ 117.2%	2.3kg (△23.3%)	2.3kg (△23.3%)	2.3kg (△23.3%)
	全社	60.4kg	56.4kg (△6.6%)	53.7kg (△11.1%)	○ 104.8%	53.5kg (△11.4%)	52.8kg (△12.6%)	51.8kg (△14.2%)
ガソリン 使用量	本社	25,777ℓ	21,000ℓ (△18.5%)	20,793ℓ (△19.3%)	○ 101.0%	20,210ℓ (△21.6%)	20,100ℓ (△22.0%)	20,0500ℓ (△22.2%)
	入善	5,407ℓ	5,360ℓ (△0.9%)	5,714ℓ (+5.7%)	△ 93.4%	5,350ℓ (△1.1%)	5,350ℓ (△1.1%)	5,300ℓ (△2.0%)
	高岡	7,338ℓ	7,000ℓ (△4.6%)	7,619ℓ (+3.8%)	△ 91.2%	6,800ℓ (△7.3%)	6,700ℓ (△8.7%)	6,600ℓ (△10.1%)
	金沢	4,671ℓ	4,690ℓ (+0.4%)	4,192ℓ (△10.3%)	○ 110.6%	4,470ℓ (△4.3%)	4,450ℓ (△4.7%)	4,420ℓ (△5.4%)
	全社	43,193ℓ	38,050ℓ (△11.9%)	38,318ℓ (△11.3%)	△ 99.3%	36,830ℓ (△14.7%)	36,600ℓ (△15.3%)	36,370ℓ (△15.8%)



項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9期 実績	H29.9 目標 (基準年比削減率)	H29.9期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定
エネルギー 投入量 (MJ)	本社	1,298,879MJ	1,124,620MJ (△13.4%)	1,107,442MJ (△14.7%)	○ 101.5%
	入善	283,510MJ	280,171MJ (△1.2%)	288,493MJ (+1.8%)	△ 97.0%
	高岡	337,057MJ	324,956MJ (△3.6%)	343,657MJ (+2.0%)	△ 94.2%
	金沢	205,583MJ	206,400MJ (+0.4%)	191,208MJ (△7.0%)	○ 107.4%
	全社	2,125,029MJ	1,936,147MJ (△8.9%)	1,930,800MJ (△9.1%)	○ 100.3%
総二酸化炭素 排出量 (kg-co <sub>2</sub> )	本社	86,749kg-CO <sub>2</sub>	74,373kg-CO <sub>2</sub> (△14.3%)	73,254kg-CO <sub>2</sub> (△15.6%)	○ 101.5%
	入善	18,960kg-CO <sub>2</sub>	18,604kg-CO <sub>2</sub> (△1.9%)	19,179kg-CO <sub>2</sub> (+1.2%)	△ 96.9%
	高岡	22,554kg-CO <sub>2</sub>	21,617kg-CO <sub>2</sub> (△4.2%)	22,831kg-CO <sub>2</sub> (+1.4%)	△ 94.2%
	金沢	13,777kg-CO <sub>2</sub>	13,780kg-CO <sub>2</sub> (+0.02%)	12,754kg-CO <sub>2</sub> (△7.4%)	○ 107.4%
	全社	142,040kg-CO <sub>2</sub>	128,374kg-CO <sub>2</sub> (△9.6%)	128,068kg-CO <sub>2</sub> (△9.8%)	○ 100.2%

総廃棄物量の削減

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9 期 実績	H29.9 期 目標 (基準年比削減率)	H29.9 期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定	中期目標 (基準年比削減率)		
						H30.9	H31.9	H32.9
紙類	本社	4,930kg	4,600kg (△6.7%)	4,070kg (△17.4%)	○ 111.5%	4,000kg (△18.9%)	4,000kg (△18.9%)	4,000kg (△18.9%)
	入善	1,679kg	1,500kg (△10.7%)	1,481kg (△11.8%)	○ 101.3%	1,490kg (△11.3%)	1,450kg (△13.6%)	1,450kg (△13.6%)
	高岡	700kg	690kg (△1.4%)	890kg (+27.1%)	× 71.0%	688kg (△1.7%)	680kg (△2.9%)	675kg (△3.6%)
	金沢	594.1kg	550kg (△7.4%)	549.5kg (△7.5%)	○ 100.1%	512kg (△13.8%)	510kg (△14.2%)	505kg (△15.0%)
	全社	7,903.1kg	7,340kg (△7.1%)	6,990.5kg (△11.5%)	○ 104.8%	6,690kg (△15.3%)	6,640kg (△16.0%)	6,630kg (△16.1%)
その他 可燃ゴミ	本社	551kg	770kg (+39.7%)	715.6kg (+29.9%)	○ 107.1%	700kg (+27.0%)	675kg (+22.5%)	650kg (+18.0%)
	入善	41kg	40kg (△2.4%)	27.2kg (△33.7%)	◎ 132.0%	35kg (△14.6%)	33kg (△19.5%)	30kg (△26.8%)
	高岡	67.5kg	67.0kg (△0.7%)	64.3kg (△4.7%)	○ 104.0%	62kg (△8.1%)	62kg (△8.1%)	62kg (△8.1%)
	金沢	65.2kg	62.5kg (△4.1%)	63.3kg (△2.9%)	△ 98.7%	61.9kg (△5.1%)	60kg (△8.0%)	60kg (△8.0%)
	全社	724.7kg	939.5kg (+29.6%)	870.4kg (+20.1%)	○ 107.4%	858.9kg (+18.5%)	830kg (+14.5%)	802kg (+10.7%)
その他 不燃ゴミ	本社	8.8kg	9.0kg (+2.3%)	14.5kg (+64.8%)	× 38.9%	9.0kg (+2.3%)	9.0kg (+2.3%)	9.0kg (+2.3%)
	入善	37kg	60kg (+62.2%)	38.5kg (+4.1%)	◎ 135.8%	42kg (+13.5%)	41kg (+10.8%)	40kg (+8.1%)
	高岡	31.4kg	29kg (△7.6%)	19.5kg (△37.9%)	◎ 132.8%	28kg (△10.8%)	25kg (△20.4%)	23kg (△26.8%)
	金沢	1.1kg	0.2kg (△81.8%)	0.2kg (△81.8%)	○ 100.0%	0.216kg (△80.4%)	0.21kg (△80.9%)	0.20kg (△81.8%)
	全社	78.3kg	98.2kg (+25.4%)	72.7kg (△7.2%)	◎ 126.0%	79.2kg (+1.1%)	75.21kg (△3.9%)	72.2kg (△7.8%)

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9期 実績	H29.9 目標 (基準年比削減率)	H29.9期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定
廃棄物 総排出量 (kg)	本社	5,489.8kg	5,379kg (△2.0%)	4,800.1kg (△12.6%)	○ 110.8%
	入善	1,757kg	1,600kg (△8.9%)	1,546.7kg (△12.0%)	○ 103.3%
	高岡	798.9kg	786kg (△1.6%)	973.8kg (+21.9%)	× 76.1%
	金沢	660.4kg	612.7kg (△7.2%)	613kg (△7.2%)	○ 100.0%
	全社	8,706.1kg	8,377.7kg (△3.8%)	7,933.6kg (△8.9%)	○ 105.3 %

### 生活用水の削減

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9期 実績	H29年9期 目標 (基準年比削減率)	H29年9期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定	中期目標 (基準年比削減率)		
						H30.9	H319	H32.9
生活 用水	本社	192 m <sup>3</sup>	155 m <sup>3</sup> (△19.3%)	137 m <sup>3</sup> (△28.6%)	○ 111.6%	135 m <sup>3</sup> (△29.7%)	133 m <sup>3</sup> (△30.7%)	130 m <sup>3</sup> (△32.3%)
	入善	93.8 m <sup>3</sup>	63.6 m <sup>3</sup> (△32.2%)	184 m <sup>3</sup> (+96.2%)	× 0%	123 m <sup>3</sup> (+31.1%)	100 m <sup>3</sup> (+6.6%)	90 m <sup>3</sup> (△4.1%)
	高岡	20.5 m <sup>3</sup>	17.0 m <sup>3</sup> (△17.1%)	18.0 m <sup>3</sup> (△12.2%)	△ 94.1%	19.0 m <sup>3</sup> (△7.3%)	18.5 m <sup>3</sup> (△9.8%)	18 m <sup>3</sup> (△12.2%)
	金沢	21.6 m <sup>3</sup>	22.2 m <sup>3</sup> (+2.8%)	20.2 m <sup>3</sup> (△6.5%)	○ 109.0%	19.8 m <sup>3</sup> (△8.3%)	19.0 m <sup>3</sup> (△12.0%)	19.0 m <sup>3</sup> (△12.0%)
	全社	327.9 m <sup>3</sup>	257.8 m <sup>3</sup> (△21.4%)	359.2 m <sup>3</sup> (+9.5%)	× 60.7%	296.8 (△9.5%)	270.5 m <sup>3</sup> (△17.5%)	257 m <sup>3</sup> (△21.6%)
融雪 装置	本社	3,588 m <sup>3</sup>	設定せず	1,259 m <sup>3</sup> (△64.9%)	—	設定せず	設定せず	設定せず
	入善	667.2 m <sup>3</sup>	設定せず	574.5 m <sup>3</sup> (△13.9%)	—	設定せず	設定せず	設定せず
	高岡	303.2 m <sup>3</sup>	設定せず	116.4 m <sup>3</sup> (△61.6%)	—	設定せず	設定せず	設定せず
	全社	4558.4 m <sup>3</sup>	設定せず	1,949.9 m <sup>3</sup> (△57.2%)	—	設定せず	設定せず	設定せず

項目 (単位)	所課	【基準年】 H27.9期 実績	H29.9 目標 (基準年比削減率)	H29.9期 実績 (基準年比削減率)	目標達成 の判定
総排水量 (m <sup>3</sup> )	本社	3,780 m <sup>3</sup>	—	1,396 m <sup>3</sup> (△63.1%)	—
	入善	761.0 m <sup>3</sup>	—	758.5 m <sup>3</sup> (△0.3%)	—
	高岡	323.7 m <sup>3</sup>	—	134.4 m <sup>3</sup> (△58.5%)	—
	金沢	21.6 m <sup>3</sup>	—	20.2 m <sup>3</sup> (△6.5%)	—
	全社 合計	4886.3 m <sup>3</sup>	—	2,309.1 m <sup>3</sup> (△52.7%)	—

## ②営業拠点別主要指標

これらの記録より平成29年9月期の各営業拠点別主要指標を下記にまとめました。

※構成人員数1人あたり

	年度	エネルギー投入量	二酸化炭素排出量	廃棄物排出量	排水量
本社	H26年9月期	40,510MJ	2,723kg-CO <sub>2</sub>	155kg	6.0 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	41,899MJ	2,798kg-CO <sub>2</sub>	177kg	122 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	38,368MJ	2,562kg-CO <sub>2</sub>	184kg	36 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	36,915MJ	2,442kg-CO <sub>2</sub>	160kg	47 m <sup>3</sup>
入善	H26年9月期	48,556MJ	3,266kg-CO <sub>2</sub>	276kg	30.6 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	47,252MJ	3,160kg-CO <sub>2</sub>	292kg	127 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	38,919MJ	2,604kg-CO <sub>2</sub>	331kg	93 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	41,213MJ	2,740kg-CO <sub>2</sub>	221kg	108 m <sup>3</sup>
高岡	H26年9月期	57,344MJ	3,855kg-CO <sub>2</sub>	147kg	4.6 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	56,176MJ	3,759kg-CO <sub>2</sub>	133kg	54 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	56,190MJ	3,760kg-CO <sub>2</sub>	139kg	23 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	57,276MJ	3,814kg-CO <sub>2</sub>	162kg	22 m <sup>3</sup>
金沢	H26年9月期	42,010MJ	2,824kg-CO <sub>2</sub>	121kg	4.3 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	41,117MJ	2,755kg-CO <sub>2</sub>	132kg	4.3 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	34,490MJ	2,311kg-CO <sub>2</sub>	101kg	3.7 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	38,242MJ	2,551kg-CO <sub>2</sub>	123kg	4.0 m <sup>3</sup>

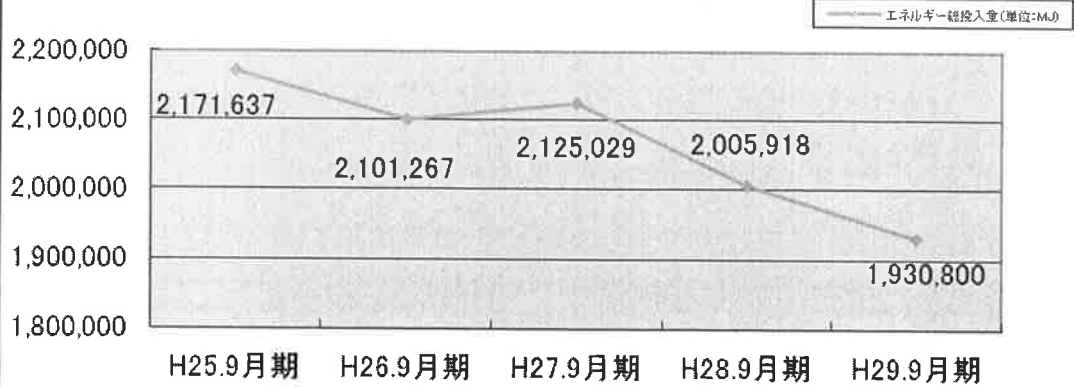
※売上高1百万円あたり

但し、金沢営業所には融雪装置の設備なし

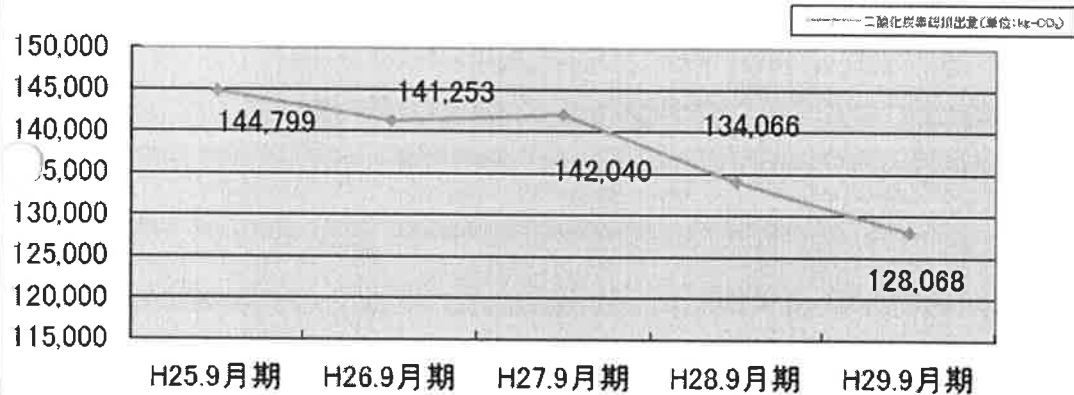
	年度	エネルギー投入量	二酸化炭素排出量	廃棄物排出量	排水量
本社	H26年9月期	515MJ	35kg-CO <sub>2</sub>	2.0kg	0.08 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	498MJ	33kg-CO <sub>2</sub>	2.1kg	1.5 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	421MJ	28kg-CO <sub>2</sub>	2.0kg	0.4 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	427MJ	28kg-CO <sub>2</sub>	1.8kg	0.5 m <sup>3</sup>
入善	H26年9月期	553MJ	37kg-CO <sub>2</sub>	3.1kg	0.35 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	523MJ	35kg-CO <sub>2</sub>	3.2kg	1.4 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	372MJ	25kg-CO <sub>2</sub>	3.2kg	0.89 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	445MJ	30kg-CO <sub>2</sub>	2.4kg	1.2 m <sup>3</sup>
高岡	H26年9月期	673MJ	45kg-CO <sub>2</sub>	1.7kg	0.05 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	542MJ	36kg-CO <sub>2</sub>	1.3kg	0.5 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	474MJ	32kg-CO <sub>2</sub>	1.2kg	0.19 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	517MJ	34kg-CO <sub>2</sub>	1.5kg	0.2 m <sup>3</sup>
金沢	H26年9月期	620MJ	42kg-CO <sub>2</sub>	1.8kg	0.06 m <sup>3</sup>
	H27年9月期	514MJ	34kg-CO <sub>2</sub>	1.7kg	0.05 m <sup>3</sup>
	H28年9月期	676MJ	45kg-CO <sub>2</sub>	2.0kg	0.07 m <sup>3</sup>
	H29年9月期	466MJ	31kg-CO <sub>2</sub>	1.5kg	0.05 m <sup>3</sup>

③環境保全活動の経過推移（全社過去5年のグラフ化）

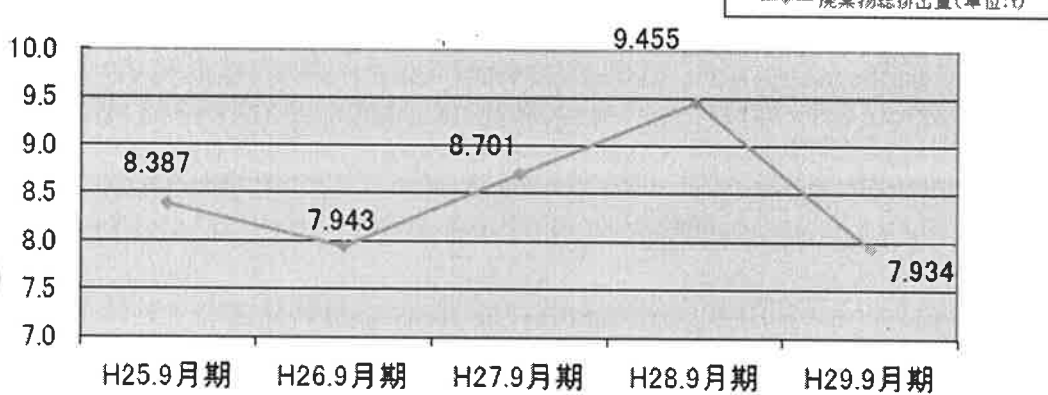
エネルギー総投入量推移



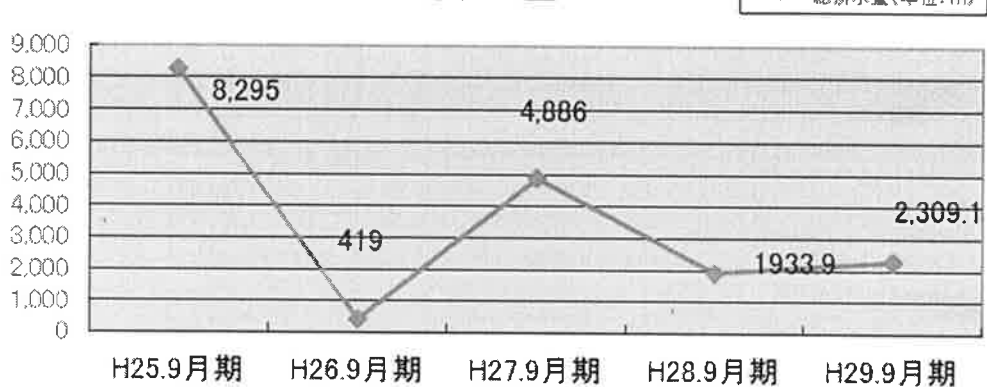
二酸化炭素総排出量推移



廃棄物総排出量



総排水量



## 5. 環境への負荷低減のための具体的取組と評価・次年度の取組内容

項目	具体的取組	評価
使用 電力量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな ON・OFF を心がける。</li> <li>不要箇所の消灯（トイレ・商談ルーム・倉庫使用時以外の消灯）</li> <li>エアコン使用時ブラインドを下げる</li> <li>エアコン使用時、玄関ドア閉</li> <li>エアコン・ストーブの最低限の運用（室温：夏 28℃ 冬 20℃ 設定）</li> <li>夏場、屋外の気温が低い時は OFF（夕方～）</li> <li>蛍光灯のこまめな ON・OFF</li> <li>外出時、消灯の厳守</li> <li>昼休み、夜は不要箇所の消灯</li> <li>自動ドア・倉庫シャッターの最低限の運用</li> <li>帰宅時、PC とコピーのコンセントを抜く</li> <li>冬場に業務用ヒーターからファンヒーターへの切換えによる削減を図る</li> </ul>	<p>・本社、入善、高岡が目標達成。前年に引き続き降雪量が少なかったことから、融雪装置の稼働率が低く抑えられたことによるものとする。日常は照明等の ON/OFF をこまめにするよう指導のこと。</p>
灯油 使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内暖房に使用。</li> <li>暖房設定温度 20℃ に合わせた火力調整をする</li> <li>太陽熱を利用し、晴天時ブラインドを下げない</li> <li>衣服の調整で暖房対策をする</li> <li>事務員の場合小型ストーブの使用</li> </ul>	<p>・高岡・金沢で目標達成。3月に入れば比較的気温も上昇してくるのでスイッチ OFF も視野に入れて運用の事。</p>
L P G 使用量 の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスコンロ使用時は炎を鍋底より内側に設定し蓋をする。</li> <li>ヤカンの水滴を拭き取ってから火にかける。</li> <li>使用後はガスの元栓を閉める。</li> <li>給湯器の種火は、朝以外は使用時のみ点火。</li> <li>消し忘れがないか朝礼前、朝礼・昼食後にチェックする</li> <li>ティファールの活用</li> <li>夏場のお茶づくりのタイミング（回数・量）の調整</li> </ul>	<p>・高岡は未達となったが、数値的には厳しい目標設定をし、前向きに取り組んでいるのが読み取れる。</p>
ガソリン 使用量 の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エコドライブ 10 のススメ」の励行</li> <li>エアコンの適正使用</li> <li>ガソリン燃費表を記録し、前年同月と比較して燃費への意識向上に努める</li> <li>重量 20kg 以上の荷物はユーザー直送</li> <li>車内の不要な荷物（カタログなど）を降ろす</li> <li>走行距離、平均燃費の月次比較、全体平均燃費を書き込む（上位 3 名を発表しモチベーションアップ）</li> <li>各自効率の良い営業ルートの確認</li> <li>ユーザー構内はなるべく歩いて回る</li> </ul>	<p>・本社・金沢が目標達成。高岡は一人当たりのガソリン使用量の比重が高いので効率的な営業ルートの模索を検討してください。</p>
紙類 (廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>FAX、プリンタ用紙等裏紙の再利用</li> <li>メール活用によるペーパーレス</li> <li>コピー・プリントアウトは内容確認の上判断</li> <li>段ボールは極力客先での処理を心がけ、納品時にも活用する</li> <li>カタログを取り寄せる時は社内ストックの有無の確認の上取寄せをし、速やかに配布する</li> <li>過剰梱包をなくすよう、仕入先へ依頼する</li> <li>FAX 通信書の再利用</li> <li>見積書作成時の入力ミスの削減</li> <li>段ボール、新聞紙のリユースをする</li> <li>プリンター・コピーの必要性の有無を確認する</li> <li>古いカタログはメーカーや仕入先に返却する。</li> <li>カタログ・チラシは極力ユーザーへ配布するよう心掛ける</li> </ul>	<p>・高岡の使用量は目標を大きくオーバーしすぎ。所内にて工夫策を検討の事。</p>

項目	具体的取組	評価
その他 可燃ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル可能なものが可燃ごみに混入していないか、分別相違していないか確認する。</li> <li>できるだけ外部よりゴミを持ち込まないように促す</li> <li></li> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社倉庫の可燃ゴミが、最近分別が甘くなっている。その結果が数値実績に現れているのでは？廃棄物の減量はとにかく、分別をしっかりして、リユースを考える事と思います。</li> </ul>
その他 不燃ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>不燃ごみについては基本的に置き場をなくし外部からの持込を禁じる。</li> <li>新品納入時、旧商品引き取り要求があればメーカーに引き取ってもらう。</li> <li>やむを得ず発生したゴミは担当責任者に連絡、判断を仰ぐ。</li> <li>修理品の引き受け時は、修理不能と判断された場合の対応も考えて交渉する。</li> <li>不燃ゴミ置き場をなくす</li> <li>エアパッキン類はエアを抜く</li> <li>リユース可能な緩衝剤の混入チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>突発的に発生する社内ゴミ以外については特に問題なく運用されていると考える。今後も継続、定着させること。</li> </ul>
生活用水	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内見廻時、給排水箇所の確認</li> <li>無駄な水の利用者には即口頭注意</li> <li>清掃時等のバケツ使用の励行を促す</li> <li>融雪装置ノズルの清掃・点検（年1回）</li> <li>蛇口の閉め忘れがないかチェックする</li> <li>水道メーターのチェック1日1回</li> <li>週に一度使用量を確認し節水への意識を高める</li> <li>手洗い、うがい時は水を流しっぱなしにしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入善は漏水補修工事を急務の事。（前々年度から指摘しているが未対応）</li> </ul>
融雪装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>融雪装置については従来通り最低限の運用とする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>冬期間中は天気予報を毎日チェック 降雪時、もしくは降雪が見込まれる時のみ稼働させる。 電源は夜にオン、朝にオフ。 日中は地熱利用による自然融雪を心がける。 センサー感度は常に鈍感。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単に水の使用量としてとらえるばかりでなく、電力消費に大きく影響する事（揚水機の稼働）も皆に浸透させよ。</li> </ul>

これ以外の取組項目として、電話使用料、コピー機カウント数、紙の使用量、受発注時におけるミスの防止によるロス等の削減に努め、概ね一定の効果をあげることができました。また、倉庫・事務所・営業車における見える化（整理整頓）の実践、各種リサイクルとボランティア活動の推進等、数値には表れないものの社内環境の改善、循環型社会への参加と協力、地域社会への貢献という側面では、当社の企業活動の全ての領域で取り組めたと自負しております。尚、次年度の取組内容については当年度と同様とします。

## 6. 緊急事態への準備、及び対応

平成29年4月1日（土）営業が外訪活動時に留守を預かる営業事務（アシスタント）3名に実際に消火器を使って訓練を実施しました。消火器の使い方、消火のポイントを理解できたようです。

## 7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に適用される、環境関連法規については、廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、大気汚染防止法、道路交通法、自動車リサイクル法、フロン排出抑制法、消防法、各市町村火災予防条例、浄化槽法、家電リサイクル法、グリーン購入法、以上14法令について、遵守状況を検証・確認した結果、取組期間中、環境関連法等への違反・訴訟等はありませんでした。尚、過去5年間にも違反等はなく、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

29年9月期は基準年である27年比、エネルギー投入量で91%・CO2総排出量で90%・廃棄物総排出量91%・総排水量で47%といずれの数値も基準年を下回った。28年比でも各項目順に97・96・84・173%と融雪装置の稼働状況で大きく左右される総排水量以外は前年比を下回った。27・28年両年の売上高を考慮しても各項目でマイナスとなり29年9月期の活動結果は総じて良好な結果で終了したと思う。マンネリ化が散見されるも活動自体が習慣化されたように感じられ、各員の日頃の努力に感謝を申し上げたい。

今後はPDCAサイクルを適切に回せるよう心掛け、より一層の活動の充実に努力していきたい。

平成 29年 12月

山崎機工株式会社

代表取締役社長 山崎 均